

2015年11月18日

『事業主との協働』～健康リスクの「見える化」による生活習慣病の発症予防と重症化防止活動の実践

**オートバックス健康保険組合が
「第4回健康寿命をのぼそう！アワード」優良賞を受賞**



右・唐澤剛氏（厚生労働省保険局長）
左・杉河修（オートバックス健康保険組合常務理事）

株式会社オートバックスセブン（代表取締役 社長執行役員：湧田節夫）ならびに当社子会社各社の従業員が加入する、オートバックス健康保険組合（理事長：森本弘徳）は、厚生労働省のスマート・ライフ・プロジェクトが主催する「第4回健康寿命をのぼそう！アワード」の生活習慣予防分野において、厚生労働省保険局長優良賞を受賞しました。

「健康寿命をのぼそう！アワード」とは、厚生労働省が「健康寿命をのぼしましょう。」をスローガンに展開する「スマート・ライフ・プロジェクト」が掲げる4つのテーマ（適度な運動、適切な食生活、禁煙、健診・検診の受診）について、生活習慣病予防の啓発や健康増進のための優れた取り組みを行っている企業・団体・自治体を表彰するものです。

当社は、創業当時から人は財産「健康こそあらゆる企業活動において必要不可欠な経営基盤」という考えに立ち、従業員の健康を重視した経営を行ってまいりました。また、2014年4月には従業員向けに「健康宣言」を発令し、その一環として、オートバックス健康保険組合とのコラボヘルスを推進する「健康管理室」を設置し、「データヘルス計画(<https://autobacs-kenpo.jp/about/data-health/>※)」に取り組んでいます。

※webサイトは11月末に公開予定

「健康経営」の取り組みについて

本取り組みについては、まず、健康保険組合の顧問医監修による健康リスク階層化基準に基づき、加入者全員を階層分けし、ヘルスゾーンごとにリスク者の減少を狙った「生活習慣病対策事業」を実施しています。特に、ブラックゾーン(突然死リスク者)とレッドゾーン対象者には、二次検診の案内を送付し、医療機関にて再受診を勧奨、受診後には人事部長への受診報告書の提出を義務付けています。またイエローゾーン対象者には、業務として健康研修を実施し生活習慣の改善を図り、健康風土醸成に向けた生産的な職場づくりを実施しています。

ブラック ゾーン	突然倒れて突然死または突然倒れて緊急入院するリスクがある層 (突然死リスク者)
レッド ゾーン	健診結果にて糖尿病、高血圧、動脈硬化、CKD（慢性腎臓病）等の各学会治療ガイドラインにおいて要治療領域と判定される層
イエロー ゾーン	健診結果にて、糖尿病、高血圧、高脂血症等の検査値が、各学会指標において境界域と判定される層
グリーン ゾーン	健診結果が各学会指標に照らし合わせて、正常であると判断されている層

健康リスク階層化基準

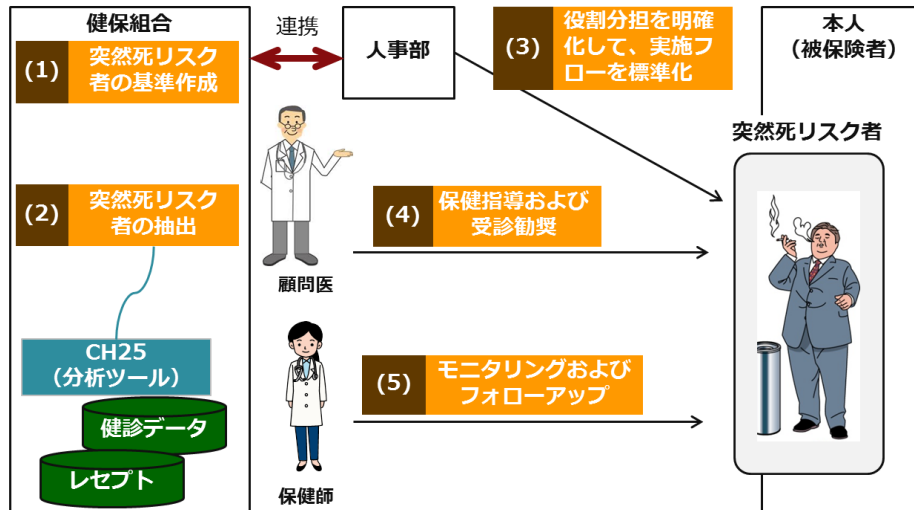
(次ページへ続きます)

取り組みの成果

2013年度の健康診断で「ブラックゾーン」と判定された対象者（16名）に対し、二次検診など、医療機関にて再受診を勧奨した結果、全ての対象者が二次検診を受診。2014年度の健康診断では対象者の62.5%（16名中10名）がブラックゾーンを脱出するなどの成果を上げております。

さらに、上司が部下の健康状況を気遣うなどの変化が表れているほか、社員同士でも健康を気遣うなど、健康に対する社内の風土醸成が広がっています。

突然死／突然入院のリスクがある被保険者を抽出し、健保組合の顧問医がきめ細かい保健指導・受診勧奨を実施することで、突然倒れるケースを撲滅します



取り組みのフロー図

厚生労働省保険局長優良賞の授賞理由

今回の受賞に際しましては、以下の点が高く評価されました。

本取り組みは、スマート・ライフ・プロジェクトの趣旨を十分に理解し、健康増進や生活習慣病の予防について積極的に推進しておられます。これは、国民の健康寿命延伸のための国民運動の推進に貢献するものであり、他の模範であると認められます。

今後も、当社は「健康宣言」の精神に則り、健康経営を推進することで、広く社会に貢献する企業を目指します。

以上

この件に関するお問い合わせ

【お客様からのお問い合わせ】

オートボックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771
受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートボックスセブン IR・広報部 小野田（おのだ）、鈴木（すずき）
〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762